

岡部落について

岡部落は、天正18年（1590）徳川家康の関東入国に際して、家臣の安部信勝が武蔵国
 榛沢郡岡部などを拝領した計 5,250 石を基に発展しました。

信勝の遺領を受け継いだ嫡男・信盛は、上杉景勝討伐や大阪の役で功を挙げ、大番役などの役職を勤めました。江戸幕府初期のこの間、寛永13年（1636）に三河国内 4,000 石加増、次いで慶安2年（1649）摂津国内に 10,000 石を加増されて信盛は大名となりました。

その後、所領高 20,250 石となった岡部落は、現在の深谷市岡部を本拠地にしながら、摂津国桜井谷（現在の大阪府豊中市）や三河国半原（現在の愛知県新城市）に当地よりも大きな所領を有し、これを分割統治して幕末まで続けました。安部家は、江戸時代の全期間を通じて、移封・転封なく、岡部落を治め続けたのです。

慶応4年（1868）に最後の藩主となった信発は、半原へ本拠移転を願い出て半原藩となり、岡部落の歴史は幕をおろすこととなったのです。



< 埼玉県指定旧跡 >

岡部藩陣屋跡（おかべはんじんやあと）

江戸時代に岡部藩の陣屋が置かれていた。幕末の兵学者で、わが国近代砲術の祖・高島秋帆が一時幽閉されたこともあり、その場所には、「高島秋帆幽囚の地」の石碑が建てられている。

【所在地】岡部 1201 ほか

【指定年月日】昭和 13 年 3 月 31 日

【変更年月日】指定替 昭和 36 年 9 月 1 日
名称変更 平成 8 年 3 月 19 日



< 深谷市指定史跡 >

岡部藩主歴代の墓 附 安部大蔵君碑

（おかべはんしゅれきだいのほか つけたり あんべおおくらのきみひ）

源勝院は安部家の菩提寺。信盛から信實までの 12 基の屋根付位牌型の墓碑が並んでいる。また、安部大蔵元真は安部氏の祖で、信盛の祖父にあたり、源勝院には、その顕徳碑がある。

【所在地】源勝院（岡部 786）

【員数】12 基 附 1

【指定年月日】昭和 51 年 11 月 3 日



安部摂津守屋敷跡（あんべせつつのかみやしきあと）

岡部藩主安部家の屋敷跡。現在は畑地となっている。

【所在地】岡部（裏面の岡部藩陣屋跡周辺マップ参照）

【指定年月日】昭和 51 年 11 月 3 日

白蓮院の墓（びやくれんいんのほか）

白蓮院は、信盛の祖父・安部大蔵元真の夫人で、天正 18 年(1590)駿河から岡部へ移るとまもなく没した。

【所在地】白蓮寺（岡部 653）

【指定年月日】平成 6 年 12 月 9 日



深谷市 教育委員会 文化振興課

電話：048-577-4501

（平日のみ 8:30~17:15 年末年始・祝日除く）